R7薬用作物産地支援 栽培技術研修 (新潟会場)

研修実施主体： 薬用作物産地支援協議会

受講対象者： 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者

研修目的： 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員： 15名

研修実施場所： 1日目：新発田市内ほ場、川東コミュニティーセンター(新発田市)

2日目：ガレソンホール ホールC (新潟県新潟市)

実施時期： 10月30日(木)～31日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
10月30日 (木)	13:00- 14:00 (60分)	移動(バス利用) 新潟駅→現地ほ場	研修の概要説明	事務局	
	14:10- 15:40 (90分)	[現地研修] 薬用作物の栽培技術等につ いて(ほ場見学)	新潟県新発田市における現地研修で シャクヤクの栽培状況を見学し、薬用 作物の特徴、栽培上の注意点等につい て、今後の支援に必要な知識・技術の 理解を深める。	井上 俊樹	新発田薬草生産組合 組 合長(株)いたやま純 心村)
	15:40- 15:50	移動(バス利用) →川東コミュニティーセンター			
	15:50- 16:40 (50分)	[講義] 新発田市における薬用植物 栽培振興の取組	新発田市における薬用作物(シャクヤ ク)の生産振興に関する地域・生産者 の取り組みを紹介する。	上田 幹久 井上 俊樹	新発田市農林水産課 新発田市薬草生産組合
	16:50- 17:50 (60分)	移動(バス利用) →新潟駅前		事務局	
10月31日 (金)	9:30- 10:20 (50分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと 今後の国内栽培について (仮題)	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産 の現状、国内産地化に期待する内容に ついて理解する。	兀下 敏幸	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
	10:30- 12:00 (90分)	[講義] 薬用作物の栽培技 術について(仮題)	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培 技術について解説する。(シャクヤク 等)	柴田 敏郎	前・国立研究開発法人医 薬基盤・健康・栄養研究 所 薬用植物資源研究セ ンター客員研究員
	12:00- 13:00	昼 食			
	13:00- 14:30 (90分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成 における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課 題について情報交換を行うとともに、 今後の産地育成支援の進め方を討議す る。	講師同席	
	14:30- 14:50	閉会	研修に対する評価等についてアンケー ト調査を実施	事務局	